

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひと葉		公表日 2026年 5月 28日			
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアごとに、グループの児童の療育に適している職員を2~3人配置している ・朝のミーティングで話し合いが進められている 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前のミーティングで決めた人員配置が午後急に急遽変更されると、対応に遅れが出てしまう 	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーに対応している ・情報伝達に関して視覚支援などを活用している ・静と動の活動、また年齢や発達段階に分けて部屋を使用するようにしている ・どこに誰がいるかをマグネットを使い、視覚的にすぐ分かるようにしている ・情報の視覚化が図られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もより良い環境にするために改善できる部分がある ・ルール等について、もう少し視覚支援があると理解しやすくなる 	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の日などを設けて、環境設定を行っている ・静と動の活動、また年齢や発達段階に分けて部屋を使用するようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の日に行った内容や改善点について、職員間で共有する機会を増やしていく必要がある ・活動内容や年齢、発達段階に応じた部屋の使用方法について、さらに柔軟に見直していく必要がある 	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時に集中するために、2階個室を利用するなど状況に応じて個別の部屋の利用を認めている ・複数の部屋があるため、状況に合わせて活用している ・活動によって過ごす場所を変えながらも、子どもの意思を尊重し、変更するなど柔軟に対応している 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた部屋の利用について、職員間で統一した対応や共有をさらに進めていく必要がある ・活動場所の変更を柔軟に行う中でも、子どもが安心して過ごせる環境づくりを継続して進めていく必要がある 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返りを日々行い、良かった点や改善点を検討している ・ミーティングの時間を調整し、パート職員も含めて参加できるようにしている ・職員会議等の議題をタイムツリーを活用して幅広く集めることができている ・毎日、前日の振り返りや当日の活動の流れなどを確認している ・午後のパート職員も参加できるように会議の時間に配慮している ・アンケートや記録の見直し、会議等が随時行われ、振り返りの改善に繋がられている 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りで出た内容をどのように実際の支援や改善に活かしていくかについて、更なる工夫が必要である
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者評価表を活用して意見の集約を行い、職員間で共有し改善に向けての話し合いを持つことができている 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が保護者の意見を把握できていない部分がある
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの時間を調整し、パート職員も含めて参加できるようにしている ・職員会議等の議題をタイムツリーを活用して幅広く集めることができている ・毎日会議を行い、特に児童の変化や活動内容について意見交換を設けている ・職員同士が話しやすい環境が作られている 	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7		・第三者委員会設置の検討
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・外部研修を周知し、法人で費用を負担するなど研修の機会を作っている ・必要な研修を年間スケジュールに入れ、内部研修を行っている ・法定研修やリタリコを活用した職員研修、外部研修の紹介などを行い、研修を受けられる環境がある	・外部研修の受講をより積極的に行い、事業所内研修でフィードバックするなど、職員が生き生きと仕事ができるような取り組みをさらに進めていく必要がある
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・支援計画（案）をもとに意見を求めながら作成している ・しっかり会議を行った上で作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・日々の活動をベースにした支援内容を計画に落とし込めるようにしている	・計画に沿った支援ができているか確認するために、データとして閲覧できる環境を整えていく必要がある
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・S-M社会生活能力検査やWISCなどを必要に応じて活用している ・初回利用前に決まったアセスメントを行っている	・日々のアセスメントについては、標準化されたツールの必要性がある
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		・地域支援や家庭支援について、より具体的に取り組んでいく必要がある
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・活動会議を行い、目的を考えて活動を組んでいる ・利用児童のグループ分けを行い、それぞれのグループに合わせた活動内容の立案や提供を行っている ・毎月会議を行い、意見を出し合いながら活動を組んでいる ・月に1度、活動会議を設けている ・子どもたちの意見も取り入れている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・同じ活動内容でも、目的や課題設定を変え、同じ内容にならないように努めている ・月に1度、「やりたい活動を話し合おう」などの活動を取り入れ、子どもたちの意見も聞きながら幅広い活動を行っている ・目的に合わせて、日々の活動内容が具体的に示されている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		・個別の活動に関しては設定が十分ではない部分があるため、自己選択・自己決定ができるよう更に配慮していく必要がある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・毎日のミーティングで活動の流れや目的、職員配置について話し合っている ・当日の活動についてのミーティングを行い、全体共有をしている ・毎日、午後のパート職員も含めて話し合いを行っている ・朝のミーティングで進められている	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・翌日のミーティングで前日の振り返りを行っている ・翌日に前日の振り返りと当日の活動についてのミーティングを行い共有している ・活動終了後に簡単な振り返りを行い、翌日の朝の会議時に共有している ・議事録を作成し、他の職員にも共有している		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・リタリコに実績を記録している ・リタリコを活用して日々の記録作成を行っており、そのデータを活用してモニタリング等の資料作成にも活用している ・毎日、児童の様子を記録し、支援の改善に努めている		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・モニタリング会議の前に、できるだけ多くの職員と一緒にケア会議を行い、事業所の評価や今後の取り組みが共有できるようにしている		

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援と日常生活の充実のための活動として、歯磨き練習や入浴練習などを取り入れている ・長期休みを利用し、児童の興味別にグループを作って特別活動を実施している ・地域のお店と連携してハロウィンを開催したり、カレー作り地域に学童を招待するなど、地域交流の活動を行っている ・毎月児童企画を行い、自ら考え、友達と話し合い、折り合いをつけながら企画できるように配慮している 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の活動について、ひと葉のイベントと地域の学校行事が重ならないよう調整していく必要がある
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが活動を考える機会を作っている ・活動会議など、児童参加型の会議を行っている ・定期的に会議を設けている 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議に出る職員は決まっているが、よく担当する職員が同席したり、難しい内容の場合は管理者と一緒に参加するようにしている 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童によっては、病院での会議に参加して情報をもらうことで連携している ・要望があれば、可能な限りカンファレンスや連携会議に参加している ・必要性を感じた際には、計画相談員に提案し連携会議を開催する場合もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関とさらに連携し、保護者の負担を減らせるようにしていく必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所にある下校時間確認表のボードを活用し、保護者や学校から頂いた新しい情報を把握するようにしている 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業所とは連携を図れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園、こども園からの情報共有については、初回アセスメント時のみになるため十分ではないと感じている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生にも対応できる事業所として、必要になった際には障害福祉サービスとの連携ができるようにしている 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会などにスーパーバイザーに入ってもらい、助言を受ける機会を設けていく必要がある
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・行事等で機会を設けているが、参加人数が少なかったことが課題となっている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会に参加している ・市内の事業所と連携を取る連絡会に所属し、横の連携を図りながら事業所の質の向上や課題解決に努めている 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEでお便りを送ることで、写真付きで分かりやすく伝えている ・毎回のようLINEで様子を伝えている ・LINEにて毎日の活動報告や相談の連絡を行っている 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族相談会などで情報提供を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングや研修を行うことができていないため、今後取り入れていく必要がある ・研修開催について不十分な部分があり、今後実施していく必要がある
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際に丁寧に説明し、分からなかった部分や質問についても確認するよう心がけている 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの強みをより生かした療育ができるよう、更に工夫していく必要がある
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対面だけでなく、LINEや電話でも柔軟に対応している ・その都度、保護者対応を行っている ・保護者同士で話せる機会も設けている ・LINE等で相談を受けた際には、その都度アドバイスや適切な対応を行っている 	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や保護者交流会を毎年行っている ・ひと葉まつりなど、きょうだい児も参加できるイベントを開催している ・保護者会や保護者交流会の機会を設け、兄弟児なども参加できるイベントを開催している ・イベント時には、児童は活動を行い、保護者は別室で交流できるようにしている ・保護者交流会やひと葉まつりなど、保護者や兄弟児も参加できるイベントを年に数回行っている 	・兄弟児に焦点を当てた取り組みについては、まだ十分とは言えないため、今後さらに充実させていく必要がある
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		・苦情を受け止める職員（担当者）を決めておく必要がある
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定や月間予定などを発行し、保護者LINEを通して共有を行っている ・LINEで直接保護者に送るようにしている ・LINEにて毎日の活動報告を行っている 	・定期的な発信が十分にできていないため、今後はホームページやSNSの活用を検討していく必要がある
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		・言語や文化の違いにより、情報がうまく伝わらないことがある
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設との交流を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流活動を今後さらに取り入れていく必要がある ・参加者を増やすためにも、地域や学校の行事日時を十分把握した上で実施していく必要がある
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発生を想定した訓練やシミュレーション研修を実施している ・外部講師を招いて実施している ・警察や消防などと連携して研修を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の部分について、さらに努力していく必要がある ・マニュアルについて、年度当初に確認する場を設けていく必要がある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、アレルギー対象児童の利用がない中でも、毎朝アレルギー児について確認するようにしている ・アレルギー確認がマニュアル化されている ・朝のミーティング時に、アレルギー対象児童の有無を確認している 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書を提出してもらった体制を整えていく必要がある ・生活管理指導表を提出してもらえるようにしていく必要がある
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		・46のマニュアル、安全計画は年度当初に配布されるとよい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		・周知が十分にできていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットをミーティングで共有し、その後グループフォームを活用して集計を行っている ・朝のミーティング時にヒヤリハットの共有を行い、全体LINEでも報告している ・事例の収集や分析を行い、必要な対策を講じている 	・リスク予測とその対応についても確認する場を設けていく必要がある
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際に説明を行っている ・事業所内の虐待防止委員会主催の研修において事例検討を行っている 	・対象となる児童がいないため、現時点では記載していない	